



『生きていくことわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】 船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117
Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp
ホームページ <http://www.hiroei.jp>

櫛風沐雨 (しゅうふうもくう) 。先鞭 (せんべん) を着 (つ) ける

【櫛風沐雨】◇雨や風にさらされながら奔走(ほんそう)し、苦勞を重ねること。

・「櫛風」は、髪を風でとかす。「沐雨」は、髪を雨で洗う。

【先鞭を着ける】◇誰よりも先に物事に着手すること。

・人より先に馬に鞭打って走らせ、さきがけの功を立てる。

不満・不信だらけの国と党の政治家トップにへきへきしているうちに、不断的努力が実り、何本も日の丸を上げたオリンピック選手。気持ちが少し良くなりました。

私たちは2月25日から第1回定例会が始まりました。平成22年度の予算を決定する重要な議会です。私は3月8日に議案質疑を行い、17日からは予算特別委員会委員として発言してまいります。是非傍聴にお出てください。今号は12月議会の報告です。

① ふなばし便利帳について

船橋市民が日常生活で困ったことや分からないことがあった時などにこの「ふなばし便利帳」が1冊あると大変便利です。2年に1回発行し、市外から転入してくる方用に25,000部、市民で希望する方に10,000部、合計35,000部作成しています。

町会・自治会長には1冊ずつ送付してきますが、こんな便利なものを知らない方、持っていない方が大半です。

この便利帳には広告が載っています。なんと面白いことに、35,000部の制作費よりも広告収入が多いのです。

この冊子には、市内のほとんどの病院や診療所、歯科医院等が掲載されています。ここに掲載することで、それぞれメリットがありますから「協力金」等の名目でお金を頂戴して、制作費の一助にし全戸配布してはどうか、と質問しました。

— 市長公室長の答弁 —



この冊子の医療機関マップには、市内の全ての医療機関を掲載しており、協力金の有無により掲載を見合わせたりすると、結果として市民や医療機関に不利益を与えてしまうことになりかねません。

手元に置いていつでも市のサービスがわかる市民便利帳の全戸配布に向け、経費の縮減、収入の確保等の課題について検討します。

② 「船橋をきれいにする日」「クリーン船橋530の日」について

毎年5月30日前後の日曜日に行うものが「クリーン船橋530の日」、



11月の第3日曜日に行うものが「船橋をきれいにする日」です。

最近はこの両方とも参加者が減少傾向です。その原因が、街がきれいになりゴミが減ったことならいいのですが、きれいになったからだとはとも思われません。

以前は啓発活動を兼ねて、実施日を印刷したゴミ袋を全戸配布していましたが、経費節減で廃止してしまいました。私は、これが一番の原因だと思います。当初は花の種も配布していました。



ゴミ袋の全戸配布復活と、防災行政無線を活用し啓発してはどうか尋ねました。

— 環境部長の答弁 —

この清掃活動も全市的に周知されたと思われることや財政的な面もあり、啓発用ゴミ袋を廃止したものです。屋外行事であり参加者は天候にも左右されますが、今後も参加人員が増加するよう学校や町会等を通してPRしてまいります。

— 市長公室長の答弁 —

防災行政無線は、非常災害時の一斉情報伝達手段という本来の設置目的を考えると、放送が流れた時には市民の方々が何かの緊急情報だとの意識をしてもらうことが大事なので、平常時に、各種行事の啓発のために活用することは難しい。

③ 耕作放棄地の有効活用について

市内には150万㎡もの耕作放棄地があります。人手がなかったり後継者がおらず、やむを得ず耕作放棄地となった農地を持っている農家と、市内にある弁当や食材を販売する会社に、野菜生産の橋渡しを市が行ってはどうか。また、ふるさと農園を希望する待機児童ならぬ待機大人が大勢います。このような方に、開墾から任せる農地開放をし、提供した農家にはその農地の固定資産税を免除してはどうか、と聞きました。わずかばかりの助成金を交付するだけではだめです。担当課は『櫛風沐雨』すべきです。



— 経済部長の答弁 —

市が橋渡しをすることは、耕作放棄地の解消に効果があると考えますが、そのためには、農業経営基盤強化促進法に基づく市の基本構想見直しを行わなければなりませんので、本年度中に見直しを行いたいと思います。また、大型農園の貸し付けも設置に向けて十分研究してまいります。

④ 大通りと交差する京成線高架の有効活用について

船橋市街の真ん中、本町通り商店街の大神宮寄りを、京成線の高架が横切っています。コンクリート色だけです。この壁をキャンバスに、船橋をPRする、例えば「ばか面」の絵等を書いてはどうか、と聞きました。『先鞭を着ける』ことが肝要です。



— 企画部長の答弁 —

市外に本市のPRを行っていくシティセールスの推進を図るうえで、ご提案は有効な手段のひとつであると思います。ご提案の趣旨を踏まえて、活用手法の検討を行ってまいります。